



広島国際学院
創立83年



「ふれあい橋」渡り初め

(左から竹内正彦同窓会長、荻野次夫前校長、山岡寛次海田町長、鶴素直理事長)

大学が第三者評価で適格認定を受ける

特集 第三者評価	2	
祝う会	3	
入学式	3	
研究科長・主任教授就任の挨拶	4	
新任職員紹介	5	
勉勵と向上心が開花する	工学部	6
努力の成果を披露	情報デザイン学部	7
新たな出発、高まる期待	現代社会学部	8
学生、教員ともに勝ち取る成果	短期大学部	9
高校から発信	10・11	
高校に「ふれあい橋」竣工	12	
オープンキャンパスを開催します	12	
今後の主な行事予定	12	

広 報
第82号
平成22年6月1日発行

URL <http://www.hkg.ac.jp/>
※大学ブログも公開中。あわせてご覧下さい。

第三者評価 — 大学、適格認定を受ける —

機関別認証評価（第三者評価）の認定と改善に向けた取組

学長 奥田 勉



本大学は評価基準を満たしていると認定されました

前号(学院広報第81号)で報告しましたように、本大学は平成21年度に(財)日本高等教育評価機構が実施する大学機関別認証評価を受審し、評価機構が定める11の大学評価基準を全て満たしていると認定されました。認定期間は平成21年4月1日から平成28年3月31日までです。今回は全国で71大学が日本高等教育評価機構の認証評価を受審し、66大学が認定を受けました。認定を受けたことは、本大学の教育・研究活動等が客観的に評価されたことであり、その意味では本当に喜ばしいことですが、手放しで喜んでばかりはいられません。それは認証評価の主たる意義が、次のようになっているからです。

- (1) 大学の個性・特色・特性を十分に発揮できるように配慮した大学評価基準に基づいて、大学を定期的に評価することにより、教育研究活動等の質を保証する。
- (2) 評価のプロセス、評価結果の活用を通じて、大学の教育研究活動等の改革・改善に役立てる。
- (3) 大学の特性に配慮した評価を行うことにより、社会制度としての大学の自主性と自律性を保証し、自律的な発展を支援・促進していく。



認定証

これは、認証評価結果を今後の大学の改善に活かしていくことが極めて重要であることを意味しています。

本大学でも点検評価活動は、自己点検・評価委員会が中心となって活発に行っていますが、評価機構から指摘

された事項の中には、視点の違い等で見落されていた事項も含まれています。これらを今後、自己点検・評価委員会が中心となって重点的に改善していく必要があります。認証評価は、受審して認定を受けたらそれで終わりではなく、新たな改革・改善への始まりなのです。今後も引き続き将来に向けて教育・研究活動等の改善充実を、更に進めていく必要があります。



認証評価受審の際高く評価された学生の地域貢献活動
(宮島の浜辺で行った清掃活動)

祝う会 3学部キャンパス統合・学生食堂リニューアル・ものづくりセンターオープン



大学の新たなスタートを大勢が祝った

本大学は今年度より、現代社会学部を中野キャンパスに統合しました。文系学部と理系学部が一つのキャンパスに集うことで学生や教員の交流が促され、より活力のある大学への飛躍が期待されています。

これに伴い、学生食堂もリニューアルオープンしました。内装を改め、券売機を導入して注文がよりスムーズに。味・メニューも一新し、バイキング形式も取り入れ食事がさらに楽しみになりました。美味しく安全安心な食事を低コストで提供し、学生の元気を支えます。

さらにもものづくりセンターも正式に開設の運びとなりました。旧原動機実験室を改修し、工作コーナー、環境・省エネルギー教育研究コーナー、展示コーナーなどを整備。ソーラー発電装

置も昨年度末に完成し、既に利活用を始めています。

これらを祝う会が4月17日、まさに新装なった学生食堂で開かれました。学生、教職員はもとより同窓会や後援会の代表、近隣自治会役員の方々も参列しました。食堂を運営する広島駅弁当(株)の中島和雄社長は「何より美味しいのはお母さんの作るごはん。母の手料理を目標に心を込めて調理させていただきます」と挨拶し、会場は大きな拍手に包まれました。尺八演奏や歌も織り交ぜ、総勢130人余りが大学の新たなスタートを盛大に祝いました。

なお、学生食堂は一般の方にも開放しています。ご利用をお待ちしております。

新入生を迎えて

入学式

【大学・短大】

満開の桜が青空と鮮やかな対比を描く4月5日、平成22年度大学・短期大学部合同入学宣誓式が厳粛に執り行われました。奥田勉学長による入学許可宣言に続き、新入生代表が力強く宣誓を行いました。

奥田学長は式辞で「『よく学びよく遊べ』と言いますが、大学でも同じことを心掛けて欲しいと思います。学業にも課外活動にも意欲を持ち挑戦することで、知性、教養、人間としての奥深さや魅力を備えた若者に変身できるでしょう。4年後あるいは2年後に、立派に成長した皆さんと再会できることを楽しみにしています」と述べました。

5号館前広場には入学を祝う恒例の茶席が設けられ、茶道部員が心を込めた一服で新入生や保護者らをもてなしました。



入学宣誓式

【高校】

4月8日、前日までの寒さも緩み、広島国際学院高等学校第64回入学式が挙行されました。普通科285名、総合学科156名、総勢441名を代表して普通科1年1組石井^{とみか}佳さん(大州中学校出身)が、入学の誓いを力強く読み上げました。太田茂校長は「今日から、創立以来83年の歴史を刻む広島国際学院高等学校の一員として第一歩を踏み出すことになりました。人生には、岐路、すなわち右に進むべきか、左に進むべきかの分かれ道があります。このとき、右か左かは何を基準に選択するのでしょうか。その答えを3年間の高校生活の中で探していただきたい」という課題を投げかけました。式とホームルームが終わった中校庭では、花開くことを待ち侘びている藤棚の下、記念写真に収まる新入生と保護者が例年になく賑わっていました。



高校入学式

研究科長・主任教授就任の挨拶



大学院 工学研究科長 佐々木 健

この度、工学研究科長として本大学の益々の発展を願い職務を全うする所存です。いふまでもなく大学は教育研究を行う組織であり、教育を行うとともに、最先端の研究も実施し、教育に反映させるとともに、地域社会へ貢献することが求められています。大学院が主に研究を担当することで、高校や中学校とは異なる教育環境を作り出す必要があります。学生が大学教員に求めていることの一つに、レベルの高い研究能力と研究活動を通じた企業や社会へのコミュニケーションがあります。時間的に大変ではありますが、応用研究や技術改良研究にも焦点をあて、わかりやすい、とりつきやすい研究テーマの学生への提供、また特許取得等による競争的研究資金の獲得など、学生や地元企業の期待に答えられるように努力する必要があると存じます。よろしくご協力、ご鞭撻をお願いいたします。



電気電子工学科 主任教授 酒井 恒

この度、工学部電気電子工学科主任教授、電気システム専攻コーディネーターの任を仰せつかった酒井です。このような若輩が役職に就くのは、自分としても僭越とは思いますが、他の人がいないということなので、少しでもお役に立てるならばとお受けいたしました。ここ数年は内外のきびしい状況を踏まえ、本大学も新しい施策を次々に打ち出してきました。製造業ならば新技術で特許を取得して業績回復を図れるかもしれませんが、教育分野でそのような新技術は、例えあったとしてもすぐに他校の真似る所となります。ゆとり教育の見直しを見ても、教育における急激な改革は、メリットよりもデメリットの方が多くなります。ここで時代に流されず、地に足をつけた教育体制を、もう一度見直したいと考えています。皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。



バイオ・リサイクル学科 主任教授 新川 英典

本年度よりバイオ・リサイクル学科主任ならびに専攻コーディネーターを拝命いたしました。バイオ・リサイクル学科は2004年工学部に誕生し、2008年の改組で専攻となりました。設置から6年を経たバイオ・リサイクル専攻では、本年度定員を超える入学者を迎えることができました。定員充足を達成できたことは、諸々の社会情勢もありますが、前主任を先頭に各位のご尽力の結果であり、本専攻の教育が評価されつつあるのだと思います。この流れを変えてはならぬと並々ならぬプレッシャーを感じつつ、教育・研究を充実させ一層魅力的な専攻となるよう努めていく所存ですので、皆様のご協力とご指導をお願い申し上げます。



情報工学科 主任教授 南 憲明

工学部情報工学科の授業を担当するようになってから9年目となりますが、その間、工学部情報工学科から情報学部情報工学科となり、さらに改組のため今年で最後を迎えることになってしまい淋しく思っております。

情報工学系の就職が特に厳しくなっているこの時期に学科主任を拝命することは、難題に挑むことを求められているのだと思います。情報工学科の名前に恥じないようにできるだけのことをしていく所存ですので、学科構成員の皆様および教職員の皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新任職員紹介

—はじめまして よろしく—

まつもと としお
松本 俊雄
現代社会学科教授

民間での40年間の経験を元に、学生の方に社会人として独り立ちでき、就職に結びつけることのできる基礎力を身につけてもらえるよう、積極的に働きかけていこうと思っています。どうかよろしくお願ひ申し上げます。



やまもと まさひろ
山本 昌弘
現代社会学科教授

これまで茨城県にある食と農の専門学校(鯉淵学園)に20年近く勤務していました。専門分野は農村労働市場論、中国農業論、農業政策論など。農村での実態調査をもとに積極的に発言したいと思っています。



ふじもと かぜあき
藤本 風明
現代社会学科准教授

36年間福祉の現場で働き、その間に大学へも非常勤講師で6年間通い、4月より常勤の教員になりました。明るく元気でパワーとエネルギーに満ち溢れた学生各位の前途を微力ながら応援することで、大学への貢献にも繋げていく所存です。



チョ ヨンイル
趙 領逸
情報デザイン学科講師

今年より本学科に講師として就任しました。専門はビジュアルおよび感性デザインで、最近ではモーショングラフィックスと感性情報との関係を研究しています。アニメーション作成、CG理論の授業を担当します。よろしくお願ひいたします。



おがさわらふみろく
小笠原文六
高校教諭

本年度より、専任教諭としてお世話になることとなりました。これからも、子どもたちと共に学ぶ姿勢を忘れずに過ごし、諸先生方から多くのことを学んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。



たなか みつひこ
田中 満彦
高校教諭

今年度より教諭としてお世話になることになりました。よろしくお願ひいたします。建学の精神である「教育は愛なり」を常に心に留め、授業・学級・課外活動などすべての場面で積極的に生徒に関わっていききたいと思います。



ためしげ しんいち
為重 慎一
高校教諭

専任教諭としてお世話になります。教育は、子どもたちの能力を発見する、夢と希望の場です。3年間で、自信が持て「国際に来て良かった」と、子どもたちが実感できる指導を手がけたいと考えております。よろしくお願ひいたします。



もんぜん よしき
門前 慶樹
高校教諭

今年度より専任教諭として採用していただくことになり、さらに身の引き締まる思いです。常に学ぶ姿勢を忘れず、生徒と共に前進していきたいと思ひます。また、「教育は愛なり」の建学の精神のもと、愛を持って生徒たちと接していこうと思ひます。よろしくお願ひいたします。



勉強と向上心が開花する

工学部



廃棄電話から貴重な資源を回収

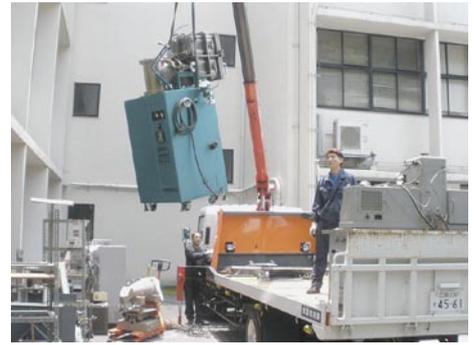
キャンパスリサイクル、本格始動！

・学内内線端末(PHS)から貴金属・金属、プラスチックリサイクル

本年度より本大学の内線電話がPHS及びPBXからIP電話へ移行しました。これに伴い廃棄となったPHS内線電話300台とPBX電話(固定電話)100台の回収を完了しました。今後学内ものづくりセンターにて、基板から金などの貴金属、配線材料から銅、本体ケースからプラスチックをそれぞれ回収、再資源化を行います。

・産学連携による機器リサイクル

キャンパス統合・設備機器の整備・更新に伴い、廃棄されることになった大型機器類は、(有)荒谷商会のご協力・ご支援により撤去ならびに金属リサイクル作業が進みつつあります。また中・小型の機器類は、ものづくりセンターの一部であるサンサン工房において集約・保管すると共に、リユース部品をものづくり教育に利用しています。



機器類も再資源化・再利用へ



難関を見事突破した牧野君

“やればできる、TOEICスコア800点越え！”

バイオ・リサイクル学科出身で大学院物質工学専攻2年の牧野将浩君(広島市立美鈴が丘高校出身)が、この度TOEIC800点を取得しました。TOEICは英語によるコミュニケーション能力を総合的に評価するテストとして世界各国で実施され、就職、進学、昇進時に用いられています。990点満点で平均点は約580点(2010年3月現在)。800点以上のスコア取得は難関とされています。

牧野君は1年間ニュージーランドにて語学留学を経験し、日常英会話能力の向上に努めました。帰国後は独学によるテキスト、CDリスニング教材を用いた学習と、本大学総合教育センター英語担当教員による個別指導を1年半重ねてきました。

「日々の積み重ねと、バランスの良い学習が高得点につながります」と語ってくれた牧野君、今後も更なるスコア取得を目指しています。

平成22年度新入生オリエンテーション

本年度も新たな新入生を迎え、各専攻で新入生オリエンテーションが実施されました。オリエンテーションでは、担当教職員の自己紹介や専攻ガイダンスを行った後に、ボーリング大会や立食パーティーを開催するなど、専攻ごとに様々な趣向を凝らした内容となりました。

これらの活動を通じ、新入生と教職員相互に親睦を深めると共に、幸先の良い新年度及び学生生活のスタートとなりました。



和やかに新年度をスタート

情報デザイン学部

努力の成果を披露

CCNA資格試験－今年も絶好調

本大学は2000年に、中国地区で他大学に先駆けて、シスコ・ネットワーキングアカデミー・プログラムをカリキュラムに導入しました。それから早10年、CCNA教育の老舗として、蓄積してきたノウハウと適切な教育指導により、毎年数多くの合格者を輩出してきました。今年も合格者数が順調に伸び、好状態が続いています。合格した学生のナマの声を紹介します。



戴 綺さん

難関資格CCNAに合格することができ、ようやくスタートラインに立つことが出来ました。一日でも早く一人前のネットワークエンジニアになれるように頑張りたいと思います。
(情報デザイン学部 情報デザイン学科3年 中国上海市出身)

CCNAを受験して、目標を達成する喜びと挑戦することの大切さをあらためて実感することができました。これからも「もっと知りたい」という気持ちをもって挑戦し続けます。
(情報学部 情報工学科4年 広島国際学院高校出身)



宗中 シロウ君

アニメーションの祭典プレイベントで作品上映

4月29日～5月5日、旧日本銀行広島支店(広島市中区)にて、広島国際アニメーションフェスティバル25周年記念&100日前イベント「広島生まれのアニメーションたち」が開催されました。

このイベントは本大学情報デザイン学部をはじめとする広島市内の教育機関等で制作されたアニメーション作品を上映するほか(本大学の作品上映は4月29日と5月5日)、アニメーション制作に対する取り組みや製作過程をパネルで紹介するというものでした。期間中は会場に約3,500人の来場者がありました。



展示の様子

本大学の作品上映会では、お客様から笑い声や驚きの声などがおこり、とても良い雰囲気の中で多くの方々に学生制作のアニメーション作品を楽しんでいただきました。

また、8月には広島国際アニメーションフェスティバルの関連イベント「広島エデュケーショナルフィルムマーケット」に参加する予定です。

「ヒバゴンのたまご」包装紙デザイン採用

本年3月、情報デザイン学科を卒業した川上愛沙さんのデザインが、(有)大國堂の菓子「ヒバゴンのたまご」の新包装紙に採用され商品化されました。このデザインは川上さん



中国新聞社提供 2010年4月22日付

を含む卒業生5人が、卒業制作として1年以上の歳月をかけて取り組んだもので、今年2月に開催された卒業制作選抜展に大國堂の山本社長が来場し、採用に至りました。川上さんのデザインコンセプトは「ヒバゴンが棲む森の神秘性と不思議さ」です。ヒバゴンが出現したとされる比婆山まで出かけ、役場職員の方々にお話を聞かせていただくなど、綿密なリサーチを重ねたうえでイメージを膨らませ表現に至っています。お菓子の包装紙は食欲をそそる暖色系が多く、このように寒色系の色調の包装紙が採用されるのは珍しいことです。4月22日付中国新聞の朝刊には、川上さんの顔写真と共に新しい包装紙の記事が掲載されました。



新しい包装紙のデザイン



卒業制作選抜展の会場取材を受ける川上さん

新たな出発、高まる期待

現代
社会学部



笑顔で合格証を示す河本さん

社会福祉士に現役合格

平成22年3月卒業

河本 裕明

私は在学中に社会福祉士に合格し、現在は広島県呉市にある老人福祉施設あかさき園のデイサービスセンターで働いています。

大学で学んだことが仕事に多く活かされています。例えばコミュニケーション技術。言葉や非言語によるコミュニケーション、利用者の方の受容がとてもスムーズに行えます。また、この技術は利用者の家族や職場の上司との会話にも活かされます。話し方を中心に長所として職場で評価されています。

福祉実習で連携の大切さや福祉分野の仕事の大変さ、やりがいなどを経験しましたが、ここからやりがいを見つけたり、つらいときに耐える力が身につきました。また社会福祉士の受験に際し毎日行った自習は、私に誇りと自信を与えてくれました。将来の目標を持って4年間を過ごしたことがとても大切であったと考えます。

ぜひ皆さんにも、将来の目標をもって大学生活を過ごされることをお勧めします。目標の大小やきっかけにこだわらなくてもいいからとにかく続けてください。自分の限界の底が広がり、より大きな目標に向かう力がついて、さらに多くのことにチャレンジできます。将来の目標も必ずみつかるはずですし、社会で生きる力は確実に養えます。

私は一人前の社会福祉士を目指し、将来は相談職に就くことを目標にしてがんばります。皆さんも、目標を持ってがんばってみてください。将来社会で活躍されることを期待しています。

新入生歓迎会

本学部では、今年度66名の新入生を迎えました。また、今年から本学部のキャンパスが上瀬野から中野キャンパスに移転し、新入生だけではなく在学生・教員にとっても新たなスタートを迎えました。

入学式翌日の4月6日には、新入生を対象としたオリエンテーション「自己の探究」が行われ、本格的な中野キャンパスでの生活が始まりました。このオリエンテーションは、他学部の学生と仲良くなるチャンスでもあります。

本学部においては、4月21日に瀬野川沿いのほこり広場にピクニックに出かけ、新入生と1年生のチューターの教員とが一緒にお弁当を食べました。身近にある自然を眺め、自己紹介をして親睦を深めました。

初めて出会う仲間に、新入生も当初は緊張した面持ちでしたが、自然に笑顔の輪ができ、学部内での学生同士の交流が深まりました。新年度へと和やかなスタートが切れたようです。これからの4年間が、みなさんの人生にとって実りあるものとなるよう願っています。



青空の下、交流を深めたピクニック

キャンパス移転

この春、本学部が上瀬野キャンパスから中野キャンパスへ移転しました。新学期初めには間違えて瀬野駅まで行きそうになった学生も、今ではすっかり中野の一員です。彼らの反応はというと…。



今年度はウォーキングがブームに？

「人が多くて、大学っぽい！にぎやかで楽しい」(3年生女子)、「学食が充実している。去年までのオレらは損してたと思う」(2年生男子)、「駅からバスに乗らなくていいから気が楽」(4年生男子)など、肯定的な意見が多数。特に、メニューが多くてバイキングランチもある学食が学生にも教員にも高評価です。

一方、学生の「見た目」で大きく変わったのが、女子学生のハイヒールが減ったこと。上瀬野では一つの建物内をエレベーターで移動することが多かったため、当初は中野キャンパスに至る坂道や学内の建物間の移動に息を切らす学生が続出。健康的なウォーキングシューズで軽やかに歩く姿が定番となったようです。

後藤講師、ベンチプレス選手権大会で世界王者に

本短大の後藤衆治講師が、第10回世界マスターズベンチプレスシングルリフト選手権大会の40歳台部門で優勝しました。

国内の予選は2009年9月に浜松で開催され、2位でしたが繰り上がりのチャンスに恵まれ、世界大会に臨むことができました。

3月30日～4月3日にアメリカのフロリダ州オーランド市で行われた本大会でも、並み居るライバルが脱落していく中で235kgをクリアし、見事世界チャンピオンの栄冠を獲得しました。日頃のトレーニングが実り栄誉を勝ち取った後藤講師は「大会の3ヵ月前に右肩を痛め、出場するべきか悩みましたが、生涯一度のチャンスと思い参加しました。優勝できて非常に幸運です」と喜びを表していました。



金メダルをかけた後藤講師

1級小型自動車整備士技能学科(筆記)試験 6年連続合格率100%達成

専攻科は自動車工業科卒業後、2年間かけて1級の勉強をし、2年生の後期には模擬問題を実施し国家試験対策をしました。1月の終わりからは模擬問題を一日2回行い、理解を助けるため教科書を読んでノートを作成させました。3月21日の試験本番、勉強した内容が今年も出題されるなど、最後まで努力した成果が現れました。6期生11名は出口調査で全員が合格点を取ることができました。

自動車工業科は2級ガソリンが5名、2級ジーゼルが1名不合格でした。

	卒業者数	受験者数	合格者数	合格率
1級小型(筆記試験)	11名	11名	11名	100%
2級ガソリン	83名	82名	77名	94%
2級ジーゼル		35名	34名	97%



試験の重圧から開放され、盛り上がったパーティー

同日夕方には学友会主催の卒業記念パーティーが開催され、ほぼ全員が合格を確信していたこともあって大いに盛り上がりました。来賓の方や名誉学院長などから激励を受け、卒業生は感激のうちに巣立っていきました。

新入生を迎えて

生活指導委員長 越智三千彦

本委員会は、「楽しくなければ学校ではない、面白くなければ授業ではない。」をモットーとして活動を続けております。

今年度は新しい試みで、4月7日、新入学生と教職員の親睦を深めることを目的とした、本委員会主催による「新入生歓迎会」をリニューアル・オープンした学生食堂において行いました。

まず、全教職員の自己紹介を行い、各チューターを囲み入学後の様子や学生生活の話題を中心に新入生と教職員との親睦を深めました。

最初のうちは、多少緊張感もあり、なんとなく堅苦しい雰囲気でしたが、時間経過と共に和やかな雰囲気となりました。

ささやかな歓迎会ではありましたが、新入生にとって満足な学生生活のスタートにつながればと願っております。



ともにテーブルを囲み親睦を深めた新入生歓迎会

入学するなら短大へ「不況でも就職率100%、内定先も全て『正社員』」

自動車整備業の集客力とは、車を売るだけではありません。故障や不具合で困った時、お客様は「早く・確実に・修理する」よう求めます。お客様の要望に応えることが信頼に繋がるのです。



就職観覧室にて

我が短大では、自動車の基礎知識と基礎技術を学ばせ整備士資格を取得し、車社会に貢献できる人材を育てるため、入学～卒業まで「トコトン面倒を見る」ことを実践しています。平成23年3月に卒業する学生の進路内定率も、雇用情勢が厳しいと言われる中、4月末現在で55.6%(昨年同月末60.0%)。しかも正社員雇用です。

「夢と希望」を持ち入学した学生に、「誇りとプライド」も携え卒業して貰っています。

卒業生の報告

中央大学 法学部 法律学科 おがわ だい 小川 大
平成19(2007)年度卒業

私は今、中央大学の法学部に在籍しています。中央大学には、全国の様々な地域から学生が集まっています。その他、欧米やアジア各国からの留学生も籍を置き、キャンパスライフを楽しんでいます。彼らと共に学生生活を送る中で、色々な経験を共有し、視野が広がったことは、私自身を大きく成長させてくれました。これは東京ならではのメリットだと思います。

東京の名門大学で、仲間と刺激しあいながら大学生活を送ることができるのは、単に就職という面に限らず、様々な面でのアドバンテージを私に与えて来ています。情報量の多さに圧倒されることもあります。最先端の文化・風俗を垣間見ることができるのは、やはり東京しかないのです。

私自身の中で、将来設計が明確に定まっているわけではありません。しかし、特に不安を感じないのは、大学生活の中で得られる経験や知識が私自身を成長させ、自信を生み出しているからだと思います。法学部に在籍しながらも、今年度から、文学部の専門的な授業も履修することにしました。全く関係のない学部であっても、興味関心を抱く分野を掘り下げて研究していくことほど、楽しいものはありません。自分が「したい」と思うことを「する」ことこそが、大学生活を有意義なものに変えるカギだと感じています。



小川君

生徒会入会式

4月9日、生徒会執行部は新入生に対し、生徒会入会式を実施しました。生徒一人一人が生徒会の一員であり、生徒会行事は生徒全員で創っていくものであるということ意識してもらうための初の試みです。生徒主導の行事であることから教員は来賓とし、2・3年生は不参加としました。

生徒会長挨拶に続いて学校長から「生徒会は自分の手で盛り上げて創ることが大切」という主旨の話がありました。次に、制服や生活態度についての間違い探しをクイズ形式で行いました。生徒会役員の生徒が色々な服装や態度で登場し、生徒指導部の鬼より怖い門前先生が指導。どこが間違っているか1年生に尋ね、生徒会長が違反点を説明しました。大爆笑の連続でした。新入生にとっては何が違反でどう指導されるのか、大変参考になったと思います。次に生徒会入会テストが実施され、本高校の年間行事や自動販売機の台数など、高校生活に密着した内容の7問が出題され、全問正解者は441名中8名でした。続いて表彰が行なわれ、景品がたいへん良かったようで「いいー、すごーい」という歓声も起こっていました。最後に生徒会長と新入生代表が堅く握手し、「ご入会おめでとう」と書かれた直径1mほどの大きなくす玉が割られました。全ての新入生が高校生活を楽しめるようになるためにも、生徒会行事などに積極的に関わり盛り上げて欲しいと思います。



珍妙なスタイルで現れる役員に会場は爆笑の渦

制服セミナー 「制服の持つ意味を考える」

4月15日、新入生対象に制服セミナーが行なわれ、デザイナーの山口梓さんが様々な角度から「制服の持つ意味」を話されました。同じお茶を入れても尿瓶、バケツ、ペットボトルで中身まで違うものを感じるという例をあげ、「人は見かけで判断される」ことを強調。また制服には人に対して「説得力、責任感、人間性」を表現する一方、自分には「プライド、やる気」そして「連帯感、友情」を芽生えさせる力があると述べました。制服の持つ意味を理解せず、私服やカジュアル服と同じような着こなしをすると、冬季オリンピック時にバッシングを受けたスノーモーグルの選手のような結果となります。特に、国際的な公の場になるほど「正式な場での良識ある服装」が求められると、社会に出る前に知っておく必要があります。また、制服は自分だけでなく、友達、後輩、学校をも表現する大事なアイテムであり、外見だけでなく内面までも判断されてしまうことを意識しなければいけません。最後に、「広島国際学院高校の代表であるという自覚を忘れず、きちんと着こなしで多くの仲間と自分たちの制服を育ててほしい。自分達が学べる環境にあることに感謝して、楽しく、素晴らしい高校生活を送ることを期待します」と結ばれました。制服の持つ意味がよく理解できた、有意義な時間となりました。



制服セミナー

★★★★★ 修学旅行 ★★★★★

新型インフルエンザの流行により延期された修学旅行が、この3月に実施されました。4泊の予定が3泊になり、行き先の変更もあったものの、生徒それぞれに感動を体験したようです。沖縄・北海道・東京、各コースの感想を紹介しましょう。

沖縄

総合システム科3年3組 奥村 千春(和庄中学校出身)

沖縄は天気が悪く心配でしたが、スキューバダイビングを体験してみると魚や海の綺麗さに感動し、寒さも吹き飛びました。シュノーケリングやバナナボートもとても楽しかったです。2日目から泊まったペンションは何か不気味で怖い思いもしたけど、話をしたり手作りのサーターアンダギーを食べたり楽しく過ごせました。3日目の夜はエイサーを見て、太鼓を叩いたり踊ったり沖縄の人と交流できました。旅行を通して沖縄の人とふれあい、独特の言葉や優しさを感じました。また、自分の行動に責任を持ち、約束を守る大切さを改めて感じました。また機会があれば行きたいと思います。



綺麗な魚や海に感動

北海道

普通科3年1組 ^{もんぜん}門前 ^{みさき}美沙希(高美が丘中学校出身)

私は北海道コースを選択しました。新鮮な海の幸、生キャラメル、夕張メロン、ジンギスカンなどなど、旅立つ前から楽しみでした。1泊目は登別温泉。登別とはアイヌ語で「白く濁った川」という意味だそうで、露天風呂の薄く白いお湯で肌がツルツルに。2日目は旭山動物園へ。水中トンネルからペンギンを観察して大興奮でした。3日目の札幌自主研修では友達とラーメンを食べ歩き、何と3軒も…。最終日の小樽では朝10時半から海鮮丼にチャレンジ。北海道の食と、夜遅くまで友達と語ったヒソヒソ話が、よき思い出としてしっかり心に刻まれたことは確かです。(恐ろしくて、修学旅行後は体重計に乗っていませんが…。)



登別温泉にて

東京

普通科3年4組 青木 佑里香(仁保中学校出身)

私は東京に行きました。東京ではディズニーランドやお台場に行ったり、シルク・ドゥ・ソレイユを見たりすることができ、とても感動しました。

修学旅行中は悪天候でしたが、先生が気転を利かせてくださったおかげでアフター6に行くことができ、有意義な時間を過ごせました。修学旅行では仲間と行動を共にすることにより連帯感や責任感、時間を守ることの大切さを学ぶことができました。同時に、友達との絆が深まった気がします。4日間はあっという間でしたが、私にとってとても大きな思い出になりました。



ディズニーランドのアトラクションを楽しむ

高校に「ふれあい橋」竣工

さわやかな春風が頬をなでる、晴天に恵まれた3月30日、「ふれあい橋」竣工式が挙行されました。海田町長の山岡寛次様を始め多数のご来賓の出席のもと、関係者総勢500名を超える盛大な式典となりました。本高校吹奏楽部による演奏「明日に架ける橋」の後、テープカット、渡り初めが行なわれ、幼稚園児達の嬉しそうな笑顔がこの式典に花を添えてくれました。



竣工を祝うテープカット

長年使用してきた国際橋(築50年)の老朽化が進み、架け替えが必要となったため、平成20年から綿密な工事計画が練られました。昨年10月に着工し、今年3月に完成の運びとなりました。橋の名称は生徒・保護者・教職員から公募し、海田町とも相談の上で決定されました。これにより本高校の蟹原校地(1号館)と曾田校地(2・3号館)が結ばれ、生徒・教職員の学校生活の動脈となるばかりか、地域の人々の生活道として、また散歩道としてもご使用いただけるようになりました。昼間は、橋の上から眺める三迫川のせせらぎや菜の花のあでやかさに心が惹かれ、夜は太陽光発電を利用した夜間照明が、おぼろげな旅情を醸しだし、行き交う人の心を和ませています。

次に、国際広場に設置された、ソーラーパネルの下に置かれた「橋暦版」について紹介しましょう。この橋暦版には次のような文言が刻まれています。

その昔、奥海田と呼ばれたこの地は、北に、日の浦山の雄姿を仰ぎ、南に、安芸連山を控え、水と緑に育まれた静かな教育環境を提供してくれる。ここに建学精神、「教育は愛なり」の教育理念を脈々として受け継ぐ学舎がある。集う若人たちは、人との絆を大切にし、世界平和の願いを常に発信しながら日夜勉学に勤しむ。

この度、蟹原地区と曾田地区を結ぶ新たな橋を架けた。地域に生活する総ての人たちの憩いと交流の場となるよう切望して、この橋を「ふれあい橋」と命名する。三迫川の清流、そして、季節を忘れることなく可憐な花を咲かせる河川敷の菜の花が、未来永劫、ここに集う人々の心を和ませ、癒してくれることを祈願する。

平成22年3月

新しい橋の顔となる「橋名版」には、橋に向かって左にふれあい橋、右に広島国際学院高等学校と刻まれ、配置されています。本高校に足を運ばれる機会がありましたら、ぜひ「ふれあい橋」を渡り、その四季折々の風情を楽しんでいただければ幸いです。

最後に、このような素晴らしい「ふれあい橋」の架け替え工事にご尽力いただきました関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

☆☆☆ オープンキャンパスを開催します ☆☆☆

次の日程でオープンキャンパスを行います。是非ご参加下さい。

大学 **7/18(日) 8/8(日) 9/12(日)** 短大 **6/27(日) 7/25(日) 8/22(日) 9/26(日)** 高校 **9/26(日)**
 10:00~15:00 10:00~14:30 10:00~

★ 今後の主な 行事予定

(赤字は公開行事です)

大学・短大 水無月祭 (短6/5) ソフトボール大会 (大6/13) **学外展 (7/10~11)**
 前期末試験 (大8/4~10 短7/28~31)
 夏期休業 (大8/11~9/16 短8/6~9/8) **高城祭 (10/23~24)**
 高校 **体育祭 (6/19)** 期末考査 (7/3~7) クラスマッチ (7/16~17)
 終業式 (7/20) 保護者対象入試説明会 (8/28) 始業式 (9/1)

この広報誌及び第三者認証評価結果はホームページでご覧になれます。 <http://www.hkg.ac.jp/>

高校生以上の方に図書館を開放しています。 詳細は図書館までお問い合わせ下さい。TEL082-820-2536